

読売に続き、朝日、日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴

Felo AI

朝日・日経によるPerplexity AI提訴事件の深堀分析



概要

朝日新聞社と日本経済新聞社は 2025 年 8 月 26 日、米 Perplexity AI（パープレキシティ）を東京地裁に共同提訴し、記事の無断利用による著作権侵害と信用毀損を主張して、合計 44 億円（各 22 億円）の損害賠償と複製・送信の差止め、保存済み記事の削除などを求めた [2](#) [34](#) [36](#)。両社は自社サイトの robots.txt で利用拒否を明示していたにもかかわらず、同社がこれを無視して記事を取得・利用した点や、両社名を引用源として表示しながら実際の記事と異なる誤情報を回答に含めた点を、著作権法（複製権・公衆送信権・翻案権）および不正競争防止法違反と位置づけている [2](#) [3](#) [34](#)。既に読売新聞グループも 8 月 7 日に同社を提訴しており（請求額約 21.68 億円、約 12 万本の無断取得を主張）、国内大手報道 3 社が足並みを揃えた異例の展開となった [6](#) [7](#) [3](#)。



詳細レポート

- 事件の核心と争点

朝日・日経は、**Perplexity** が少なくとも 2024 年 6 月頃から両社記事が無断複製・保存し、生成 AI の回答として要約や記事の一部を表示したと主張している [32](#)。主な法的根拠は、著作権法 21 条の複製権、23 条の公衆送信権、27 条の翻案権の侵害であり、加えて両社名や記事を引用源に掲げつつ実際と異なる内容を提示する行為が、不正競争防止法 2 条 1 項 21 号の信用毀損行為に該当すると位置づけられている [23](#)。さらに、**robots.txt** でクローリング拒否の意思表示をしていたにもかかわらず無視した点を重く見ている [2](#)。

- 無断利用と誤情報の具体像

報道では、**Perplexity** の回答に「日本経済新聞の報道を基に...」「朝日歌壇選者による 2025 年新春詠」といった表記がありながら、人物名・経歴・年齢・詠歌などに誤りが含まれていた具体例が示されており、信用毀損の主張を補強している [34](#)。また、朝日が **Yahoo!** ニュースに配信した記事や、日経の有料会員限定記事まで含めて許諾なく複製・保存されたとする指摘もある [36](#)。

- 請求内容と救済の範囲

両社は、記事の複製・送信の差止め、保存済み記事の削除、両社名や記事を表示して虚偽の回答を送信する行為の差止め、そして各 22 億円の損害賠償を求めている [2](#)。コメントとしては、朝日は「違法な利用を続ける事業者には引き続き対応を求めていく」、日経は「野放図な著作権侵害に歯止めをかけたい」と述べ、共同提訴の抑止効果を強調した [34](#)。



- 既存の提訴・海外動向

読売新聞グループは 8 月 7 日、2024 年 2～6 月に約 12 万本の記事や画像が無断複製・利用されたとして、差止めと 21 億円余の賠償を求めて東京地裁に提訴しており、国内大手メディアによるこうした訴えはこれが初とされる [6](#)。Perplexity は日本で誤解を招いたとして謝罪のコメントを出している [6](#)。また、海外でも 2024 年 10 月に WSJ の親会社ダウ・ジョーンズなどが米国で提訴しており、国際的にもメディア対生成 AI の係争が広がっている [7](#)。

- 法的論点の整理

1. 著作権法上の複製・公衆送信・翻案

生成 AI サービスが回答生成のために記事を取得し自社サーバに保存する行為が、複製権や公衆送信権の侵害に当たるかが中心争点となる [2](#)。回答における要約や構成変更が原著作物の翻案に該当するかも焦点となる [2](#)。

2. robots.txt の法的評価

robots.txt は技術的アクセス制御の意思表示であり、これを無視した収集は「利用拒否の明示的無視」として違法性を補強し得るが、robots.txt 自体の法的拘束力や、著作権侵害の成否とどう結びつくかは審理を要する [23](#)。

3. 不正競争防止法と信用毀損

引用源として社名・記事を掲げつつ、内容に齟齬がある虚偽表示を行うことが「他人の商品等表示の信用を

害する行為」に該当し得るかが問われる [23](#)。具体的な誤情報の例示が原告の信用毀損主張を支える材料となっている [34](#)。

4. 二次利用と「要約」

「引用」や「要約」による適法利用の抗弁が想定される一方、系統的・大量の複製・保存と配信、そしてアクセス拒否の無視はフェアユース的な議論以前に、日本法の枠組みで侵害と評価されやすい構図になっている [23](#)。

● 当事者の主張と広がる影響

朝日・日経は、対価なき大量・継続的な「ただ乗り」が報道機関の基盤を毀損し、民主主義の根幹を揺るがしかねないと強調する [3](#)。日経は「野放図な著作権侵害に歯止めを」との姿勢を示し、共同提訴で問題を可視化する狙いを述べている [34](#) [32](#)。業界的には、読売の提訴に続き **3** 大紙が横並びとなったことで、AI 事業者との包括ライセンスや技術的アクセス制御、出典表示と正確性管理の強化など、実務面の再設計が避けられない展開となる [672](#)。



● 量的比較と論点マップ

項目	朝日・日経 共同提訴	読売新聞 提訴
提訴日	2025/8/26 2 34	2025/8/7 6
被告	Perplexity AI 2 34	Perplexity AI 6

項目	朝日・日経 共同提訴	読売新聞 提訴
請求額	計 44 億円（各 22 億円） 2 34	約 21.68 億円 6
主張行為	無断複製・保存・配信、 robots.txt 無視、誤情報提示 2 3 34	無断複製・利用、約 12 万本 取得（2024/2～6） 6
法的根拠	複製権・公衆送信権・翻案権 侵害、不正競争（信用毀損） 2 3	著作権侵害（差止・損害賠償） 6
救済請求	複製・送信差止、保存記事削除、 虚偽回答の差止、損害賠償 2	利用差止、損害賠償 6
周辺動向	ダウ・ジョーンズ等が米国で 提訴（2024/10） 7	同左 7

- リスクと実務的含意
 1. 生成 AI の学習・推論における権利クリアランス
robots.txt や有料記事の扱い、第三者配信先の記事（例：Yahoo!ニュース）の二次取得の可否など、収集の正当化には個別の許諾・包括ライセンスが事実上不可欠になりやすい [2](#) [36](#)。
 2. 出典表示と正確性
出典を明示しても内容に齟齬があれば信用毀損のリスクが高まるため、回答生成時のファクトコンシステンシ検証や、出典本文との逐語一致チェックなどの合意アルゴリズムが必要になる [34](#) [2](#)。
 3. 日本市場での事業運営
大手メディア 3 社の訴訟で判例が形成されれば、ニュース用途の AI 検索・要約機能は、許諾とコンテンツ管理のコストを内生化しない限りスケールしにくい市場構造となる可能性がある [2](#) [6](#) [7](#)。
- シナリオ分析（今後の展開）
 1. 差止的救済の可否
裁判所が、ongoing な複製・送信や虚偽表示の差止めをどの範囲で認めるかがサービス継続性を左右する [2](#)。

2. 和解とライセンス

欧米で進むメディア—AI 間の包括契約の国内版が成立し、アクセス制御遵守・誤情報低減・報酬分配をパッケージ化する可能性が高い [7 2](#)。

3. 技術的対応

- robots.txt・robots meta の厳守、ニュースサイトの noAI ポリシー反映 [2](#)
- 出典精度保証と要約整合性の自動評価
- 許諾済みコーパスと未許諾コーパスの分離パイプライン構築
- 監査ログと再現可能性の確保（質問—回答—出典の完全トレース）

これらは信用毀損の再発防止と、法的リスク低減の両面で中核となる [2 34](#)。

● 当事者発言と社会的含意

日経は「野放図な著作権侵害に歯止めを」、朝日は「許諾を得ずに違法な利用を続ける事業者には対応を求めている」とし、報道基盤と民主主義への影響に言及している [34 3](#)。裁判の帰趨は、ニュース・ジャーナリズムに対する対価支払いの規範化、AI 検索における出典と正確性の規格化、そして日本における AI 法制・業界自主ルールの形成に波及する見込みが強い [2 7 3](#)。

要約

- 朝日・日経が Perplexity AI を共同提訴。合計 44 億円を請求し、無断複製・送信の差止め、保存記事の削除、虚偽回答の差止めを求めている [2 34](#)。
- 争点は、著作権法（複製権・公衆送信権・翻案権）違反、robots.txt 無視、そして不正競争防止法上の信用毀損（出典表示と齟齬のある回答）である [2 3](#)。
- 読売も 8 月 7 日に提訴（約 12 万本の無断取得、約 21.68 億円請求）。Perplexity は日本での誤解を招いたとして謝罪を示している [6](#)。
- 裁判は、AI 検索・要約サービスの日本市場における運営設計（許諾ベースのライセンス、アクセス制御遵守、出典整合性・誤情報管理）を再規定する可能性が高い [2 7 3](#)。
- 業界の次の一手は、包括ライセンスと技術的ガバナンス（許諾済みコーパス運用、整合性検証、監査ログ）を一体で実装し、法的・信用リスクを同時に低減することだ [2 34](#)。

1. [日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え ...](#)
2. [米 Perplexity を共同提訴 読売に続き「記事の無断利用」で計 44 ...](#)
3. [朝日・日経の 2 紙、米 AI 企業を提訴 「記事無断利用で著作権 ...](#)
4. [朝日と日経 米生成 AI 事業者を提訴 — Yahoo! ニュース](#)
5. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求 — 中日新聞](#)

6. [“生成 AI で記事無断利用” 読売新聞が米企業を提訴 — NHK ニュース](#)
7. [日経と朝日も米 AI 企業提訴 「著作権侵害」訴え—東京地裁](#)
8. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求 — 47NEWS](#)
9. [「記事の無断利用看過できず」朝日新聞社と ... — TBS NEWS DIG](#)
10. [朝日、日経新聞が米国の生成 AI 事業者を提訴 「記事を無断利用」](#)
11. [産経ニュース on X: "朝日、日経も米国の生成 AI 事業者を東京 ...](#)
12. [日経と朝日も米 AI 企業提訴＝「著作権侵害」訴え—東京地裁](#)
13. [日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え ...](#)
14. [日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え ...](#)
15. [朝日・日経が米企業を提訴 “生成 AI で記事無断利用”計 44 億円の ...](#)
16. [生成 AI 事業者を著作権侵害で共同提訴 | お知らせ — 朝日新聞](#)
17. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求](#)
18. [記事原稿や画像の無断転載など著作権侵害の損害賠償額 ...](#)
19. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求 — 東京新聞](#)
20. [朝日、日経新聞が米国の生成 AI 事業者を提訴 「記事を無断利用」](#)
21. [「野放図な著作権侵害に歯止めをかけたい」朝日新聞と日経 ...](#)
22. [「検索サービスで記事を無断利用」日経と朝日も米パー ...](#)
23. [日経・朝日、米 AI 検索パレキシティを提訴 著作権侵害で](#)
24. [日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え ...](#)
25. [日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え ...](#)
26. [朝日、日経新聞が米国の生成 AI 事業者を提訴 「記事を無断利用」](#)
27. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求（共同通信）](#)
28. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求 — 東京新聞](#)
29. [生成 AI 事業者を著作権侵害で共同提訴 | お知らせ — 朝日新聞](#)
30. [日経と朝日も米 AI 企業提訴＝「著作権侵害」訴え—東京地裁](#)
31. [米生成 AI 社を朝日・日経が提訴 | カナロコ by 神奈川新聞](#)
32. [日経・朝日、米 AI 検索パレキシティを提訴 著作権侵害で](#)
33. [米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求 — 中日新聞](#)
34. [朝日、日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え 読売に続き — 産経ニュース](#)
35. [朝日、日経も米国の生成 AI 事業者を東京地裁に提訴 記事無断使用訴え 読売に続き（産経新聞） — Yahoo! ニュース](#)
36. [朝日、日経新聞が米国の生成 AI 事業者を提訴 「記事を無断利用」 | 毎日新聞](#)